

基準価額が5%以上下落した当社ファンドについて(4月7日)

4月7日、以下の公募ファンドの基準価額は前営業日（4月4日）比5%以上下落しました。

外国株式市場は、2日に発表された米国の相互関税に対して中国が米国への報復関税の発動を発表したことで、関税発動の応酬による世界的な景気悪化懸念が高まりました。加えて、FRB（米連邦準備理事会）のパウエル議長は4日に行われた講演の中で、関税率の引き上げ幅が想定を上回っているとの認識を示しつつも、現時点で金融政策の方向性を判断するには時期尚早との考えを示したことで、早期の利下げ観測が後退し、4日の外国株式市場は大きく下落しました。

米国リート市場は、米中の関税引き上げの応酬に伴う経済の先行きに対する警戒感に加え、パウエルFRB議長が金融政策の方向性を示すことは時期尚早との見方を示したことから、景気後退局面に入っても金利が高止まりする可能性もあるとの懸念が広がり、株式市場と同様に大きく売られました。

日本株式市場は、先週後半からの流れを引き継ぎ大幅に下落しました。トランプ大統領が発表した相互関税により経済悪化懸念が引き続き燃り、先行き不透明感に加え、米政府高官から株式市場の下げに対してフォローとなるような発言がなかったことや、中国が報復関税を行うと発表したことで貿易戦争が長期化するのではないかと懸念が強まり、日経平均先物やTOPIX先物で一時サーキットブレーカーが発動するなど、日本株は全面安の展開となりました。

【基準価額が前営業日比5%以上下落したファンド】

ファンド名称	基準価額(円)		前営業日比	
	4月4日	4月7日	騰落幅(円)	騰落率
損保ジャパン日本株オープン	14,526	13,493	-1,033	-7.11%
損保ジャパンTCW外国株式ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	14,224	13,444	-780	-5.48%
損保ジャパンTCW外国株式ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	30,343	28,503	-1,840	-6.06%
損保ジャパン・グリーン・オープン	18,247	16,948	-1,299	-7.12%
損保ジャパン日本株ファンド	20,032	18,611	-1,421	-7.09%
損保ジャパン日本株オープン(DC年金)	28,492	26,470	-2,022	-7.10%
みずほ好配当日本株オープン	13,078	12,242	-836	-6.39%
好配当ジャパン・オープン	13,806	12,930	-876	-6.35%
損保ジャパン・エコ・オープン(配当利回り重視型)	12,589	11,666	-923	-7.33%
みずほ好配当日本株オープン(ノーロード型)	10,269	9,618	-651	-6.34%
好配当グローバルREITプレミアム・ファンド 通貨セレクトコース	1,875	1,773	-102	-5.44%
みずほ好配当日本株オープン(年1回決算型)	27,566	25,806	-1,760	-6.38%
好循環社会促進日本株ファンド	19,877	18,524	-1,353	-6.81%
次世代金融テクノロジー株式ファンド	21,948	20,571	-1,377	-6.27%
ハッピーエイジング20	27,486	25,824	-1,662	-6.05%
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2065	14,228	13,461	-767	-5.39%
SOMPO123 先進国株式	15,598	14,738	-860	-5.51%
FDA日米バランスファンド(積極型)	13,098	12,408	-690	-5.27%
米国株式自動配分戦略ファンド	13,647	12,888	-759	-5.56%

(ご注意) 時価評価の適用日時について

上記掲載の投資信託が外国籍投信や他社国内籍投信を主な投資対象とするファンド・オブ・ファンズである場合、投資対象資産や為替レートの反映日時は各外国籍投信や他社国内籍投信の規定によります。従って、下記の市場データとは差異が生じる場合があります。

当資料中の運用実績に関する数値、グラフ等は、すべて過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

※ 後述の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

基準価額が5%以上下落した当社ファンドについて(4月7日)

【国内指数】	4月4日	4月7日	前営業日比	
			騰落幅	騰落率
日経平均株価	33,780.58	31,136.58	-2,644.00	-7.83%
TOPIX	2,482.06	2,288.66	-193.40	-7.79%

【外国指数】	4月3日	4月4日	前営業日比	
			騰落幅	騰落率
S&P500種指数	5,396.52	5,074.08	-322.44	-5.97%
ナスダック総合指数	16,550.61	15,587.79	-962.82	-5.82%
S&P 世界リート指数(米ドルベース)	174.86	167.38	-7.48	-4.28%

【為替レート】	4月4日	4月7日	前営業日比	
			騰落幅	騰落率
米ドル(対円)	146.03	145.78	-0.25	-0.17%

※出所：Bloombergおよび投資信託協会

当資料中の運用実績に関する数値、グラフ等は、すべて過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

※ 後述の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

[投資信託をお申込みに際しての留意事項]

| 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客さまのご投資された金額を下回ることもあります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

| 投資信託に係る費用について

ご投資頂くお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

購入時に直接ご負担いただく費用	購入時手数料 上限3.85%（税込み）
換金時に直接ご負担いただく費用	信託財産留保額 上限0.5%
投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用	信託報酬 上限2.09%（税込み）
その他の費用等	上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。「その他の費用等」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。交付目論見書、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

※ 当該手数料等の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、SOMPOアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく交付目論見書や契約締結前交付書面をご覧下さい。

SOMPOアセットマネジメント

SOMPOアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第351号
 加入協会／一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のご利用にあたっての注意事項

- ◆ 当資料は、SOMPOアセットマネジメント株式会社により情報提供を目的として作成された資料です。したがって、勧誘を目的としたものではありません。また、法令等にもとづく開示書類ではありません。
- ◆ 投資信託は、主として値動きのある証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失が生じ、投資元金を割り込むことがあります。
- ◆ 当資料に記載されているグラフ・数値等は過去の実績を示したものであり、将来の成果等を保証するものではありません。当資料は弊社が信頼できると判断した各種情報に基づいて作成されておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。投資信託をお申し込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受け取りの上、詳細をご確認ください。また、お申込みに関する決定は、お客さま自身でご判断下さい。

皆様の投資判断に関する留意事項

【投資信託のリスク】

投資信託は、株式や公社債など値動きのある証券等（外貨建資産に投資する場合は為替リスクがあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。従って、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。

【留意事項】

- ・ 投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- ・ 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ・ 投資信託の収益分配は、各ファンドの分配方針に基づいて行われますが、必ず分配を行うものではなく、また、分配金の金額も確定したものではありません。分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

【お客様にご負担いただく費用】

■お客様が購入時に直接的に負担する費用

購入時手数料：購入価額 × 購入口数 × 上限 3.85%（税抜 3.5%）

■お客様が換金時に直接的に負担する費用

換金時手数料：公社債投信 1 万口当たり上限 110 円（税抜 100 円） ※その他の投資信託にはありません

信託財産留保額：換金時に適用される基準価額 × 0.5%以内

※T&D「Jリートファンド 限定追加型 1402」（当初申込時無手数料）についてはご換金時期により信託財産留保額 3.0%～0.5%（2021 年 6 月 1 日以降は無料）をご負担いただきます。

■お客様が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担：純資産総額×実質上限年率 2.618%（税抜 2.38%）

※実質的な負担とは、ファンドの投資対象が投資信託証券の場合、その投資信託証券の信託報酬を含めた報酬のことをいいます。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。

その他の費用

※上記の他に、組入有価証券等の売買に係る売買委託手数料、監査費用、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産から間接的にご負担いただく場合があります。これらの費用・手数料等は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。

- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額若しくはその上限額又はこれらの計算方法を示すことはできません。

- 上記のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。各費用項目の料率は、販売会社である香川証券株式会社が取扱うすべての公募投資信託のうち、最高の料率を記載しております。投資信託のリスクや費用は、個別の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に、個別の投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」の【投資リスク、手続・手数料等】をご確認ください。

【香川証券株式会社】

商号等 香川証券株式会社

登録 金融商品取引業者 四国財務局長（金商）第 3 号

加入協会 日本証券業協会